

# 今週のモーニングセミナー報告

令和5年9月13日(水)の講話 <第957回>

テーマ:「小さな町から世界へ」

講師: NBA フェニックスサンズ 渡邊雄太選手の父 渡邊英幸 様

(松浦 清貴 会長) 今月の誕生日の方へのプレゼント。本日講話していただく、渡邊英幸さんのことを知るために、渡邊雄太選手の本<『好き』をちからにする>を事前に読んできました。先日のワールドカップ世界大会バスケットが終了したばかりですし、日本の活躍、盛り上がりもちょうどのタイミングです。よろしくをお願いします。

(渡邊 英幸 様) 私も今月が誕生日です。65歳になります。44年間サラリーマンをしてきて今年3月末で終わりました。渡邊雄太のことを今回のワールドカップのことを含めてお話します。ワールドカップは8月25日から9月10日の決勝戦まで、3会場で開催されました。①ジャカルタ(インドネシア)②フィリピン③沖縄(日本)。全32チームが参加する4年に一度の大会。オリンピックの前年開催。ランキングがつけがたい、一応の指標だけ。NBAの選手は開催の28日前からのみ練習に参加できる。ヨーロッパの国々は自国が一番。各国の代表選手TOPの選手が集まる。ドイツ・スロベニア・オーストラリア・USA。渡邊雄太が帰国しても合宿に7月28日からはずぐ参加できない。一度ロサンゼルスに帰ってトレーニング施設で練習して、帰国して時差ボケ解消して、参加です。NBAでは、フェニックスサンズ・メンフィスグリズリーズ・トロントラプターズ・ブルックリンネッツ等で合計5年間、一年契約。この度フェニックスサンズから2年契約。高校からすぐには入れないので、大学に一年以上在籍。一年でのアーリーエントリーは厳しい。アメリカにはスポーツ選手を優遇する文化がない。赤点の選手は練習できない。お金も厳しい。先輩だからとおごられるのはよくない。アメリカにはそんな文化がない。お金にも厳しい。大学一年は必ず行かなければいけない。最低年俸(約一億円)一年ごとのミニマム契約。八村選手が3年契約で約70億円。アメリカンドリームそのもの。いままで5年間はCMがなかったのは、一年契約の為。今回2年契約になったので8月20日からCMのオンエア開始される様になった。そういう本契約があってオファーがあり、ワールドカップに参加できた。アンゴラ戦で足を怪我して・・・ケガした方が負け・・・しょうがない。テーピングして強化試合に参加していた。今回優勝したドイツ戦も見に行きました。沖縄でしたフィンランド戦。相手国の応援団の人たちも背が大きい、北欧の人たちばかり。予選で勝利したのはアジアでは日本だけ。ベネズエラ・カーボベルデにも勝ちパリオリンピックへの切符を手に入れました。NBAの選手はい1チーム15名×30チーム=450名のみ。スター選手の実が活躍する舞台です。中心選手として10連敗だった、自分を鼓舞するように勝てなければ代表をこれを最後に辞めますといったのは、退路を断って若い人たち声掛けしたのだらうと思う。お陰でチーム一丸となり勝つことができました。

担当者: 赤山 芳隆

世界最高峰プロバスケット NBA で活躍される渡邊雄太選手の父、渡邊英幸さんに講話をしていただきました。身長190センチとお父さんも大きかったです。W杯バスケットで盛り上がりオリンピック出場も決めたタイミングで講話でした。雄太選手は香川県で生まれ高校卒業後、アメリカの大学へ留学した。日本とアメリカとの文化の違い、NBA選手は最低年俸が1億円、アメリカンドリームだと思いました。雄太さんの本も読みましたがバスケットが好きで、想像もできないくらいにすごく努力をしたのが伝わってきます。そしてNBA選手になるゆるぎない信念が伝わってきます。W杯前に足首をケガしたこと。W杯ではドイツ、オーストラリア、フィンランドのグループに入る。会場に応援に行ったがフィンランドの人たちは応援団も体がでかい。フィンランドに歴史的勝利、ヨーロッパチームに勝ったのはアジア勢初めてということです。W杯は3勝2敗でオリンピック出場を決める。日本を感動に巻き込んだバスケットの中心選手であるお父さんに講話をしていただき嬉しく思います。今回のW杯ではバスケットは体と体がぶつかり合う激しいスポーツだと思いましたし、カーボベルデという今まで聞いたことのないアフリカの国との対戦もあつたりで世界中で愛されているスポーツなのだと思います。

会長: 松浦 清貴

出席社数 20社 22名

次回のご案内

(モーニングセミナー)

日時 9月20日(水) 6:00~7:00

テーマ:「私の人生には、すでに倫理が存在していた。」

講話者: 香川県さぬき市倫理法人会 研修委員

(一社) オレンジ音楽協会 代表理事 佐藤丈史

会場: 南新町自治会館 2F

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス [rinri-hk@ma.pikara.ne.jp](mailto:rinri-hk@ma.pikara.ne.jp)